

**JCI-TC104A 繊維補強セメント系複合材料の新しい利用法研究委員会  
第5回幹事会議事録案**

日 時：平成24年1月25日（水）13時～16時

場 所：JCI第1会議室

出席予定：金子，国枝，金久保，栗橋，井上（敬称略）

議 事：

**(1) WGの活動方針と報告書の内容**

各WGから，報告書のとりまとめ方針の紹介があり，審議を行った．主な内容は以下のとおり．

- ・各WGが予定している執筆内容に関しては，基本的に原案どおりで了承された．
- ・報告書のとりまとめ方針については，以下のとおりとする．

第1部 構造物の長期性能実現に向けた繊維補強セメント系複合材料の可能性（仮題）

→WG1のとりまとめ内容および委員会全体の概論

第2部 ひび割れ幅の定量評価と利用拡大への展開（仮題）

→WG2のとりまとめ内容

第3部 環境負荷低減の現状把握と利用拡大への展開（仮題）

→WG3のとりまとめ内容

・委員会報告書のキーワードとしては，「材料，構造のシームレス化」と「長期性能」であり，これらを意識する必要がある．なお，構造物の長期性能を実現するために損傷制御を行うのであれば，その旨を報告書に丁寧に記載する．

・報告書には，WG1の成果であるデータベース機能をつけたCD-ROMを基本的には添付することとした．なお，本年度末の委員会予算に余剰が出た場合には，あらかじめ当該CD-ROMを作製すれば，報告書の価格が抑えられる．

- ・委員会報告書として，材料の定義については，JCI高靱性委員会程度の内容とする．
- ・写真等の著作権の取扱いが厳しくなっており，その旨各委員にも周知する．
- ・全体目次案を早急に取りまとめ，WG2の開催日前に各委員に送付する．
- ・報告書取りまとめのスケジュール案を決定し，各委員に送付する．

**(2) シンポジウム等**

・シンポジウムの論文募集を3月号から行うこととした．内容については，メール審議のうえ，入稿する．

**(3) 今後の予定**

・例年どおりであれば，JCI年次大会用の委員会報告を作成する必要がある．国枝幹事長が原案を作成し，各WGにて適宜修正していただくこととした．

- ・次回委員会を3月に開催する．日程調整を至急メールにて行う．

以上